

The Shinro Journal とは・・・松江東高校進路指導部が発刊する情報紙です。主に進路に関する情報提供や、各種行事や講座の案内・報告を行っていきます。

2学期も終わりました。3年生は共通テストまで1か月を切り、最後の追い込み、仕上げの時期です。本番でベストのパフォーマンスができるよう、体調管理もしっかりしていきましょう。2年生はここから1年後です。3学期はよく3年0学期と言われます。個々の頑張りや、スタートラインをゴールに近いところに設定できます。1年生は文理選択の時期です。文系学部と理系学部では受験科目が異なります。途中での文理変更は受験では圧倒的に不利です。いろんな人と話して、最終的には自分で決定してください。

## 3年生 3学期の進路関係

### ▼「私の受験計画」～勝負の3か月

出願期間、試験日、発表日、手続き締め切り日を確認。1月18日(土)・19日(日)は大学入学共通テスト(島根大学)さらに1月は私立大学の一般入試、2月国公立前期試験と私立大学一般入試、3月には国公立大学後期試験と続いています。移動日なども考慮し、しっかりスケジュール管理をしていきましょう。

今までやってきたことを信じてやり切るしかない。一つ一つの結果に一喜一憂せず、まず自分の受験をやり切ることに集中する。不安になることもあるでしょう。一人で受験に行く孤独感や友達の結果を聞いて焦ることもあるでしょう。家族や担任、東高の先生方がついていきます。最後まで走り抜こう!

## 1年生 3学期の進路関係

### ▼土曜講座

進研実力テストに向け、基本事項の確認や、過去問を使って復習をします。せっかく受ける実力テストです。何もしないで受けるのはもったいない。3年生になってからの受験もしっかり対策をして受けるものです。

### ▼進研実力テストがあります。1月16日(木)

3科目です。11月に続き、全国で40万人以上が受験する大規模なものです。1年生で学習したことを再確認しておきましょう。

## 2年生 2学期の進路関係

### ▼土曜講座

進研実力テストに向け、基本事項の確認や、過去問を使って復習をします。1年次の学習内容や発展的な内容もしっかり対策をして受験しましょう。

### ▼進研実力テストがあります。1月16日(木) 17日(金)

国語・数学・英語はほぼ共通テスト範囲になります。この成績が受験のスタートラインになります。志望校の合格可能性判定も付きますので参考にしてください。

### ▼共通テスト早期模試(初めてのマークシート試験)2月4日(火) 5日(水)

共通テストタイプの試験になります。範囲は共通テストよりもやや狭く、難易度も2年生向けに作られています。感覚をつかむにはよい機会です。解答時間なども参考にしてください。

## 高校卒業者の進路について

全国の高校卒業者の進路について、令和5年3月の卒業者についてのデータが出ていましたので参考にしていきます。この年の高等学校卒業者数は96万2009人となっています。このうち、大学進学者は全体の56.8%、短期大学が3.4%、専門学校が16.2%となっていますので、合わせると7割強、各種学校・公共職業能力開発施設4.0%を合わせると約8割の新卒者が進学をしていることがわかります。大学数は増えていますが、短期大学、専門学校は減ってきています。

<令和3年>

<令和5年>

	学校数	学生数(学部)		学校数	学生数(学部)
大学	803	約263万人	大学	810	約263万人
短期大学	315	約10万人	短期大学	303	約8.4万人
専門学校	2754	約61万人	専門学校	2693	約56万人

## 共通テスト出願について

### ▼個別の Web 出願に変わります

これまで、共通テストの志願票は、現役生は各学校（高等学校等）でまとめて大学入試センターに送るようになっていました。これが来年度（現 2 年生）からは Web 出願に変わります。例年記載事項にミスがないか学校でチェックし、訂正や書き直しをして、出願していましたが、個別の出願になると完全に自らの責任になります。ミスや出願が正しくできていなかった場合などは受験ができないこともあります。また、科目等に不備があり、希望の大学が受験できないなど、さまざまなトラブルも予想されます。いろいろな可能性を考え、幅広く受験していくことが大切です。

詳細については今後大学入試センターから出てくると思われませんが、具体的な出願方法など最新の情報に注意をしていきましょう。

## 総合型選抜について

総合型選抜とは、大学が求める学生像（アドミッションポリシー）に合致した人物を選抜する入試制度です。旧 AO 入試（アドミッションズ・オフィス入試）と呼ばれ、2021 年度から名称が変更されました。国公立大学では定員の約 2 割がこの入試で選抜されています。年々倍率が上がっており、2~6 倍程度になっています。私立大学では、総合型選抜に学科試験を課すところが増えてきました。主に関西から中部、一部関東の私立大学で見られ、年々増加傾向にあります。

一般入試と違い、期間が長いもの（何回も講座に出たり、レポートの提出が必要な入試）志望理由書や学習計画書、活動実績報告書など、各大学学部によって準備していくものが違ってきます。国公立大学は専願入試になっており、第一志望であることが前提になっています。私立では併願可能な総合型選抜もありますが、志願倍率が高いのが特徴です。

- ・アドミッション・ポリシーに合致しているか
- ・その大学の学びに適した学力を身につけているか
- ・高校での活動実績と大学の学びが結びついているか
- ・大学で何をどのように学びたいかが明確であるか

面接（口頭試問を含む）や総合問題（筆記試験）、プレゼンテーションや実技など、適性や意欲、実績や学力などを総合的に判定するように工夫されています。

よって、「勉強が苦手だから総合型で」と安易に考えていると、うまくいかないケースが多いようです。

## アドミッション・ポリシー（求める学生像）について

### 1. 大学のアドミッション・ポリシー（例）

#### ◆ ○○大学（令和 7 年度）

《求める人材像》

○○大学は、学術の中心として深く真理を探究し、豊かな人間性と高度な専門性を身につけ、世界的視野を持って平和な国際社会の発展と社会進歩のために奉仕する人材を養成するため、次のような学生を国内外から求めます。

- ・ 大学での学びに必要な高等学校段階の基礎的学力を有し、自然、社会とその歴史、学術文化、人間などに対する知的好奇心と高い学修意欲を有する人
- ・ 地域社会や世界の諸課題について自らとの関係において課題を発見し、必要な情報を収集しながら、論理的思考のもとで探究し続けようとする人
- ・ 価値観の異なる他者とも、協働や対話を通じて相互理解を図ろうとする人
- ・ 深く思考する過程を通じて自ら判断し、自分の意見や着想をわかりやすく表現しようとする人

《入学者選抜の基本方針》

これらの人を受け入れるため、各学部・学科・課程及び各研究科・専攻等において、適切な選抜方法を定め入学者選抜を実施します。

### 2. 学部・学科のアドミッション・ポリシー（例）

#### ◆ ○○大学・医学部・看護学科（令和 7 年度）

看護学科では、将来、地域社会の人々の命と生活を支える自律した看護専門職を志望する、次のような学生を求めます。

- ・ 大学で学ぶ上で必要な基礎的学力と主体的学習態度を身につけている人
- ・ 他者に関心を持ち、人間を尊重し、ささえ合い、ともに歩むことのできる人間性豊かな人
- ・ 知的探究心にあふれ、主体的かつ論理的に問題解決を図ろうとする人
- ・ 志を高く持ち、夢の実現に向けて弛まぬ努力のできる人
- ・ 保健・医療に関心があり、将来看護に貢献したいと考えている人

このように、国公立・私立問わず、すべての大学・学部・学科で求める学生像が示されています。各大学や専門学校のホームページで調べてみて下さい。これらに、大学等が求める学生かどうかを判断するために、共通テストや学科試験、小論文や面接、志望理由書やプレゼンテーションなど工夫を凝らした選考が行われています。自分が志望する大学・専門学校について知り、早めの対策をとっていくことが重要です。